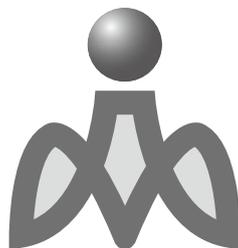


山 梨 県

商工会地区

中小企業景況調査報告書

〔令和7年1月～3月実績〕
〔令和7年4月～6月予測〕



未来に敏感、人が中心

山梨県商工会連合会

目 次

I 調 査 要 領	1
II 景 況	
1. 産業全体の業況概観	2
2. 製造業の動向	
(1) 景 況 概 観	3
(2) 主な項目で見る業況	3
3. 建設業の動向	
(1) 景 況 概 観	6
(2) 主な項目で見る業況	6
4. 小売業の動向	
(1) 景 況 概 観	9
(2) 主な項目で見る業況	9
5. サービス業の動向	
(1) 景 況 概 観	12
(2) 主な項目で見る業況	12

【I】 調 査 要 領

1. 調 査 対 象

(1) 対象地区 19商工会 (2) 対象企業数 165企業 (3) 回答企業数 165企業

2. 調査対象期間

第4四半期 令和7年1月～3月期 「調査時点：令和7年3月1日」

3. 調 査 方 法

県内の調査対象企業を19商工会の経営指導員等が訪問面接調査

4. 調査対象企業（モニター企業）の商工会別、業種内訳

商工会名	製 造 業	建 設 業	小 売 業	サービ業	計
都 留 市	3	2	3	4	12
山 梨 市	1	2	2	3	8
大 月 市	2	1	3	2	8
韮 崎 市	2	2	1	2	7
南アルプス市	3	2	4	6	15
北 杜 市	4	2	5	4	15
甲 斐 市	4	3	5	2	14
笛 吹 市	3	2	4	6	15
上 野 原 市	2	1	2	2	7
甲 州 市	3	1	2	3	9
中 央 市	2	1	2	1	6
市 川 三 郷 町	2	1	1	2	6
身 延 町	1	1	2	2	6
南 部 町	1	0	1	1	3
富 士 川 町	1	1	1	2	5
昭 和 町	1	1	3	3	8
西 桂 町	0	0	1	1	2
南 都 留 中 部	1	1	2	2	6
河 口 湖	1	1	6	5	13
計	37	25	50	53	165

5. そ の 他

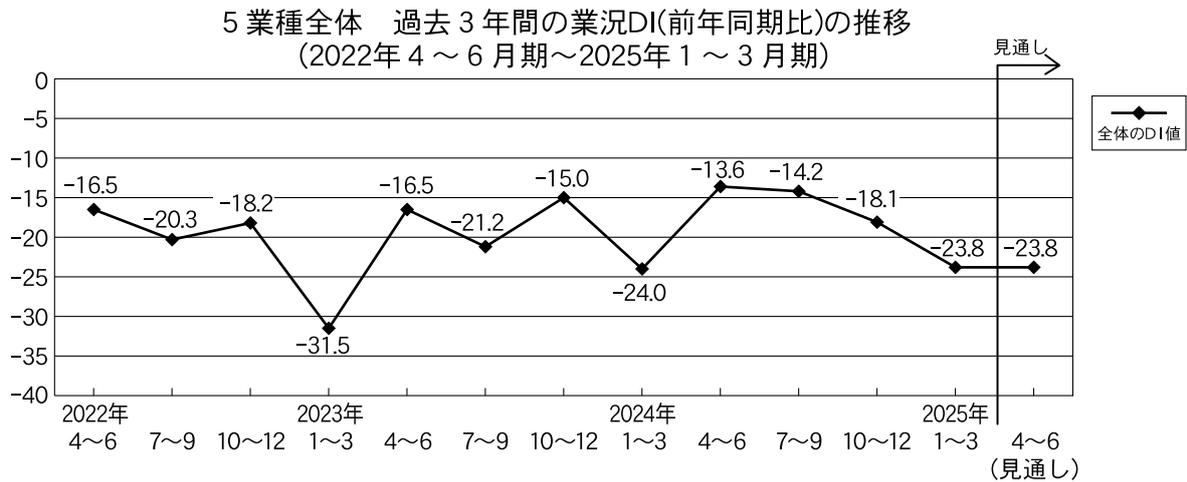
本報告書のDIとは、デフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について前年同期と比較して、増加（上昇、好転、長期化等）とする企業割合と、逆に減少（低下、悪化、短期化等）とする企業割合の差を示すものである。

【Ⅱ】 景 況

1. 産業全体の業況概観

本県における5業種全体の業況判断D I、及び、産業別の業況判断D Iについてみる。

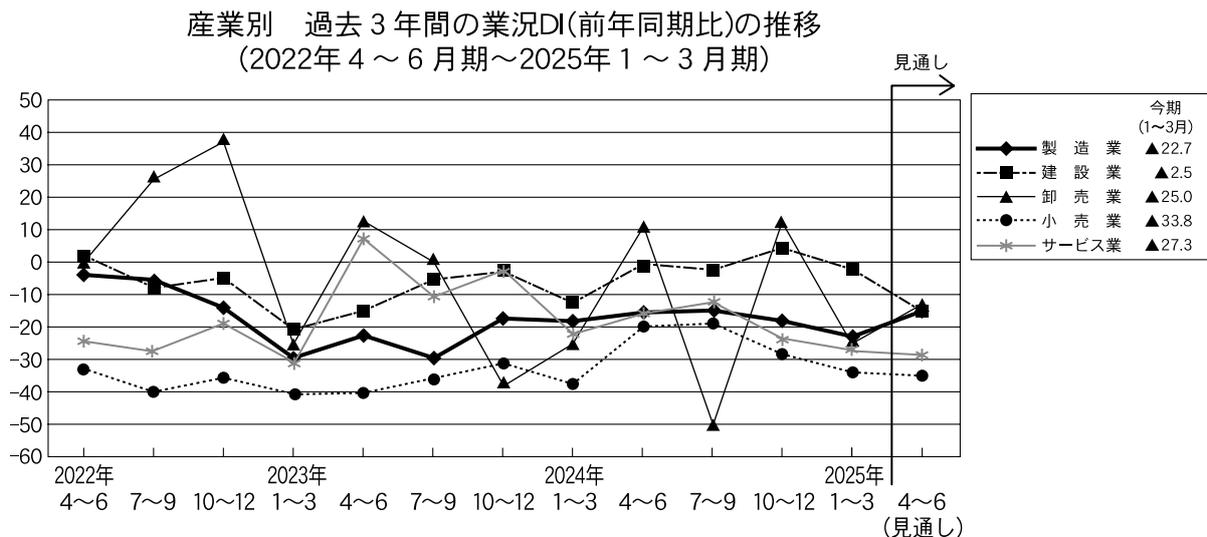
まず、前年同期比でみた過去3年間の5業種全体の業況判断D Iである。今期の業況判断D I（前年同期比）は▲23.8であり、前期比で▲5.7ポイントと3期連続で悪化している。来期見通しも▲23.8で引き続き厳しい見方が続いている。



次に、前年同期比でみた過去3年間の産業別の業況判断D Iである。

製造業は▲22.7で前期比▲4.6ポイント、建設業が▲2.5で前期比▲7.5ポイント、卸売業が▲25.0で前期比▲37.5ポイントの大幅悪化、小売業が▲33.8で前期比▲5.2ポイント、サービス業が▲27.3で前期比▲3.5ポイント。全産業が前期よりも判断を悪化させている。

来期は、今期の数字に比べて製造業・卸売業が改善の見通し、小売業・サービス業が僅かながら悪化、建設業が悪化の見通しとなっている。



【注記】 上記、産業全体の業況概観については、商工会調査対象165企業に甲府・富士吉田地域等からの111企業を含めた276サンプルを使用。卸売業については、中小企業基盤整備機構調査によるデータのみを使用。次ページからの産業別景況D Iについては、商工会地区企業のサンプル分析に基づくものである。

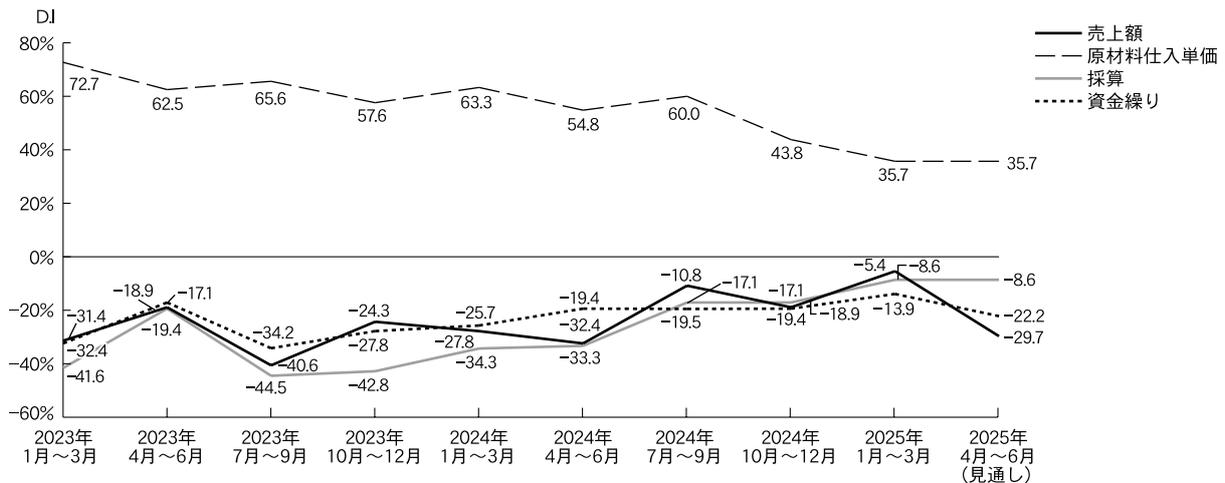
2. 製造業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲5.4と前期比で13.5ポイント改善したが、来期は▲29.7へ大きく悪化の見通し。原材料仕入単価D Iは、今期35.7と前期比で8.1ポイント下降（改善）し、来期も変わらず35.7の見通し。採算D Iも、今期は▲8.6と前期比で8.5ポイント改善し、来期も変わらず▲8.6の見通しである。資金繰りD Iは、今期▲13.9と前期比で5.5ポイント改善したが、来期は▲22.2へ悪化の見通しである。

今期は全てのD Iが改善を示し、景況感の中立状態が近づきつつあったが、来期は原材料仕入単価D I、採算D Iは今期同等なもの、売上額D I、資金繰りD Iが再び悪化の見通しとなっている。

山梨県 製造業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

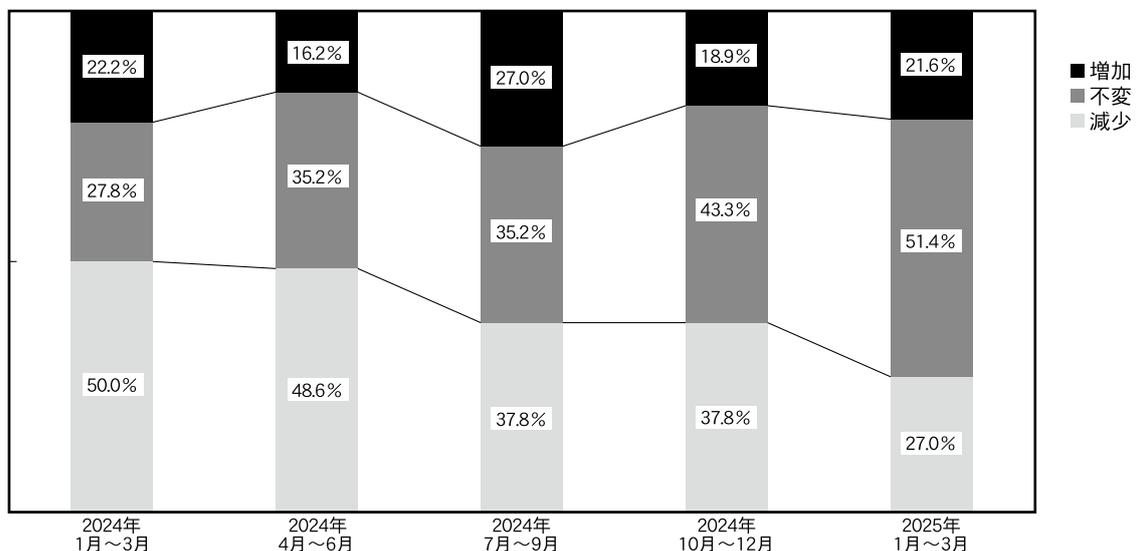
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数37社））

「増加」と答えた企業の割合は、21.6%（8社）に増加（前期比+1社）している。

「不変」は51.4%（19社）に増加（前期比+3社）し、

「減少」は27.0%（10社）に減少（前期比▲4社）している。

山梨県 製造業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D Iの内容（回答企業数35社））

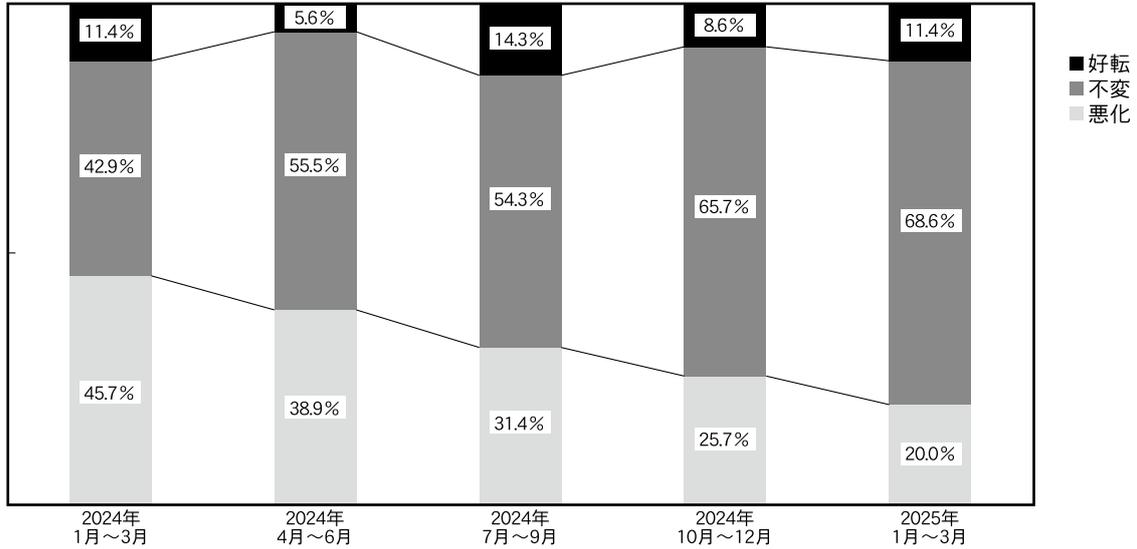
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、11.4%（4社）に増加（前期比+1社）している。

「不変」は68.6%（24社）に増加（前期比+1社）、

「悪化」は20.0%（7社）に減少（前期比▲2社）している。

山梨県 製造業 採算の状況－前年同期比－

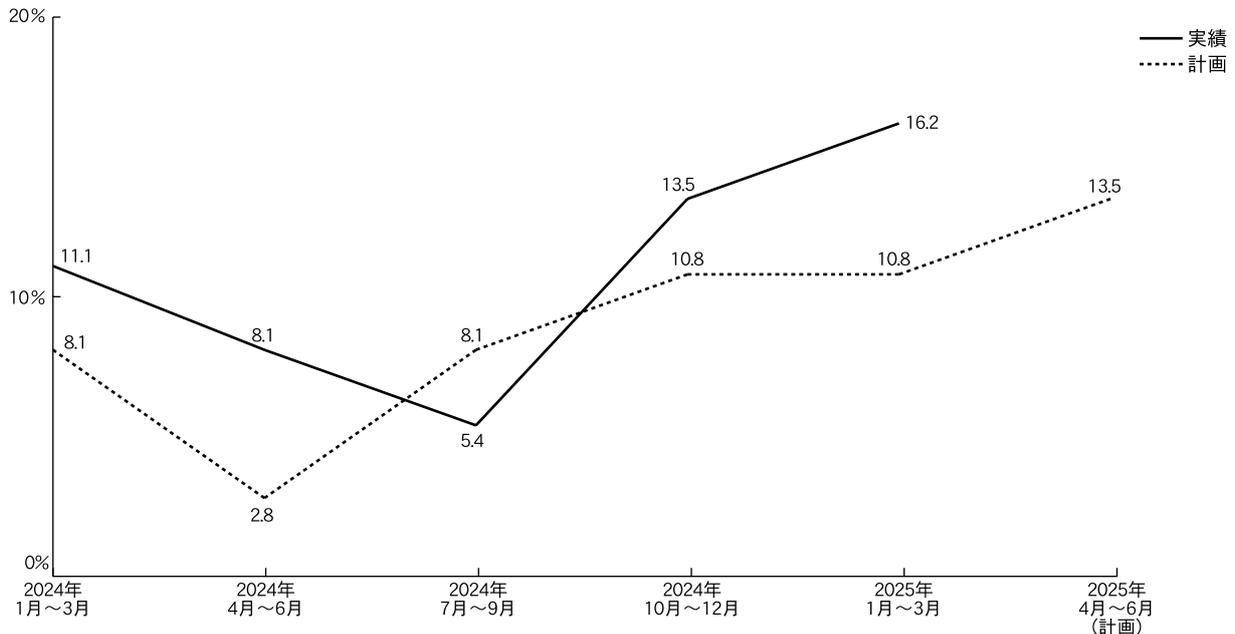


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数37社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は16.2%（6社）であった。その設備投資の内容は、「生産設備」が3件、「工場建物」「車両・運搬具」「その他」が1件ずつであった。

来期の計画については、13.5%（5社）の企業が予定している。その設備投資の内容は「生産設備」「車両・運搬具」が2件ずつ、「工場建物」「福利厚生施設」が1件ずつである。

山梨県 製造業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数36社）

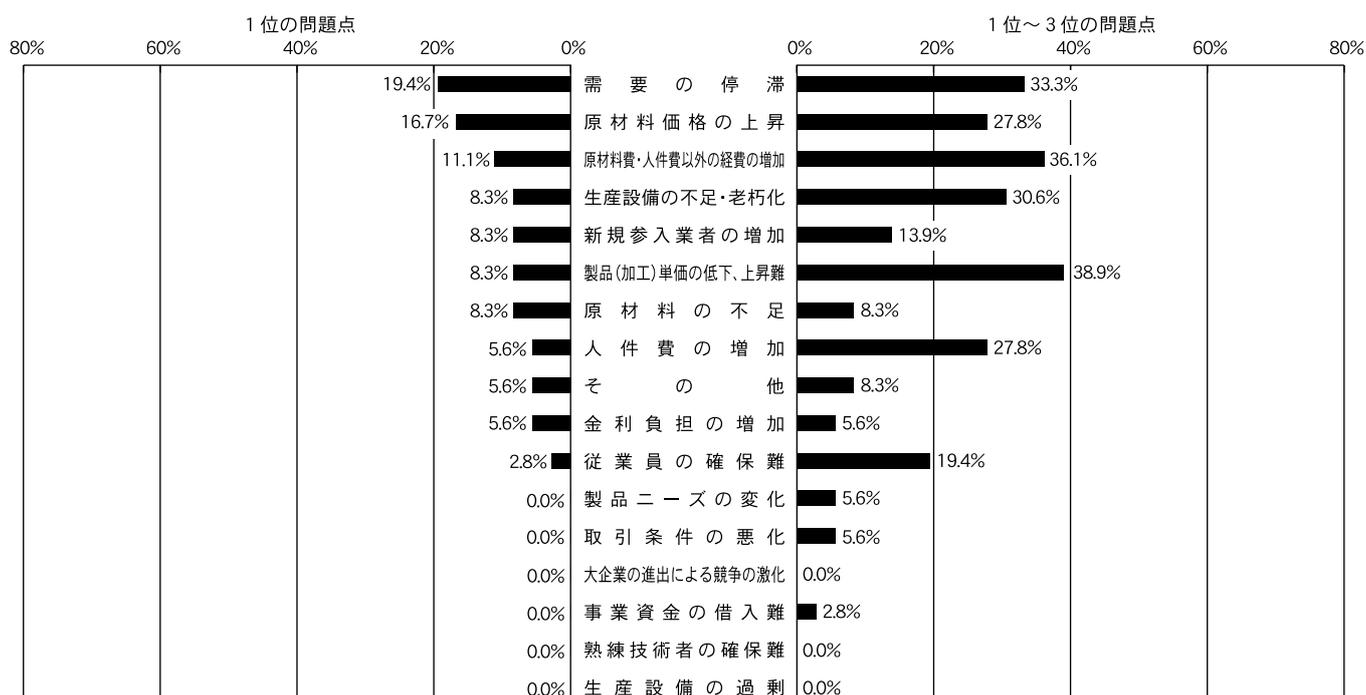
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「需要の停滞」の19.4%（7社）であり、2番目は「原材料価格の上昇」の16.7%（6社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらは、1番目に多かったのが「製品（加工）単価の低下、上昇難」の38.9%（14社）であった。2番目に多かったのは「原材料費・人件費以外の経費の増加」の36.1%（13社）であった。

山梨県 製造業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
食料品製造業	5	13.6
飲料・飼料・たばこ製造業	1	2.7
印刷・同関連業	2	5.4
化学工業	1	2.7
プラスチック製品製造業	3	8.1
金属製品製造業	3	8.1
一般機械器具製造業	13	35.1
電気機械器具製造業	3	8.1
精密機械器具製造業	1	2.7
その他製造業	5	13.5
合計	37	100.0

従業員規模別

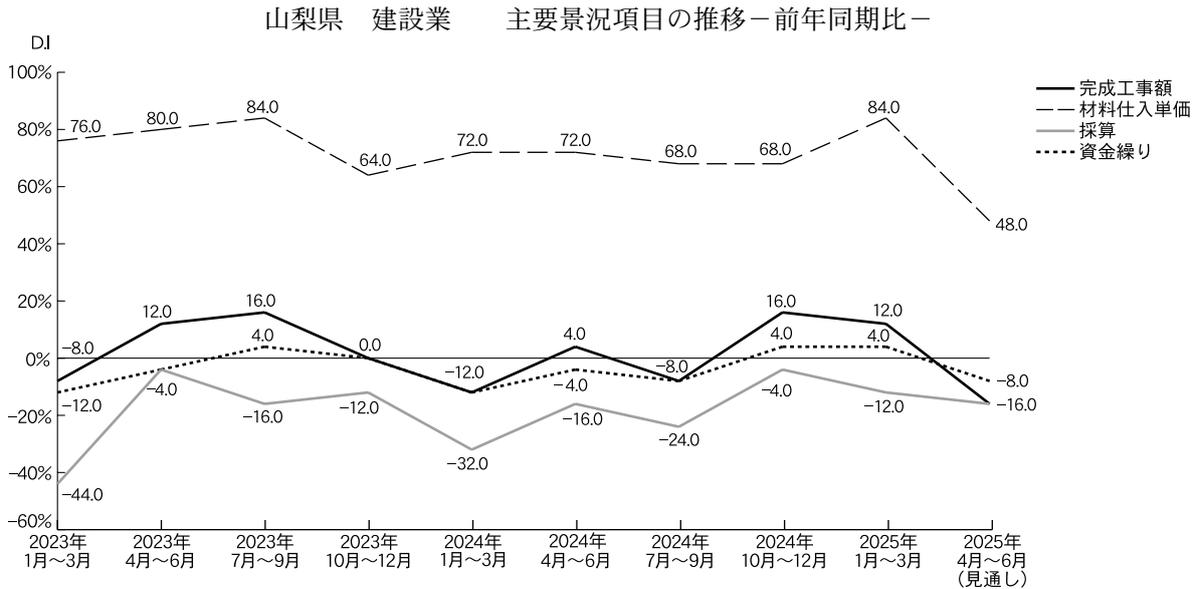
従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い		企業数(社)	構成比(%)
2人以下	19	51.4	16	43.3
3人～5人以下	9	24.3	7	18.9
6人～10人以下	6	16.2	10	27.0
11人～20人以下	3	8.1	4	10.8
合計	37	100.0	37	100.0

3. 建設業の動向

(1) 景況概観

完成工事額D Iは、今期12.0と前期比で4.0ポイント悪化し、来期はさらに▲16.0へと大きく悪化の見通し。材料仕入単価D Iは、今期84.0と前期比で16.0ポイント上昇（悪化）したが、一転、来期は48.0へ大幅下降（改善）の見通しである。採算D Iは、今期▲12.0と前期比で8.0ポイント悪化し、来期は▲16.0へとさらに悪化の見通し。資金繰りD Iは、今期4.0で前期と変わらなかったが、来期は▲8.0へ悪化の見通しである。

今期は、資金繰りD Iが変化なしであったが、他のD Iは全て悪化。来期も材料仕入単価D Iが大幅改善の見通しだが、残りのD Iは全て今期よりも悪化の見通しとなっている。



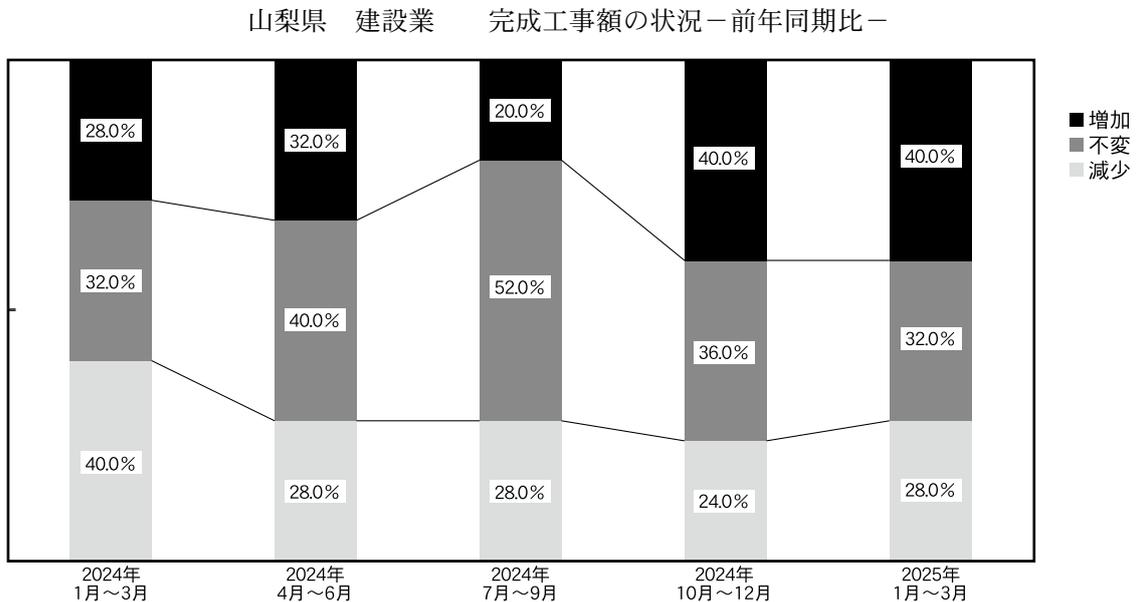
(2) 主な項目で見る業況

① 完成工事額（完成工事額D Iの内容（回答企業数25社））

「増加」と答えた企業の割合は、40.0%（10社）で前回と変化なし。

「不変」は32.0%（8社）に減少（前期比▲1社）、

「減少」は28.0%（7社）に増加（前期比+1社）している。



② 採算（採算D I の内容（回答企業数25社））

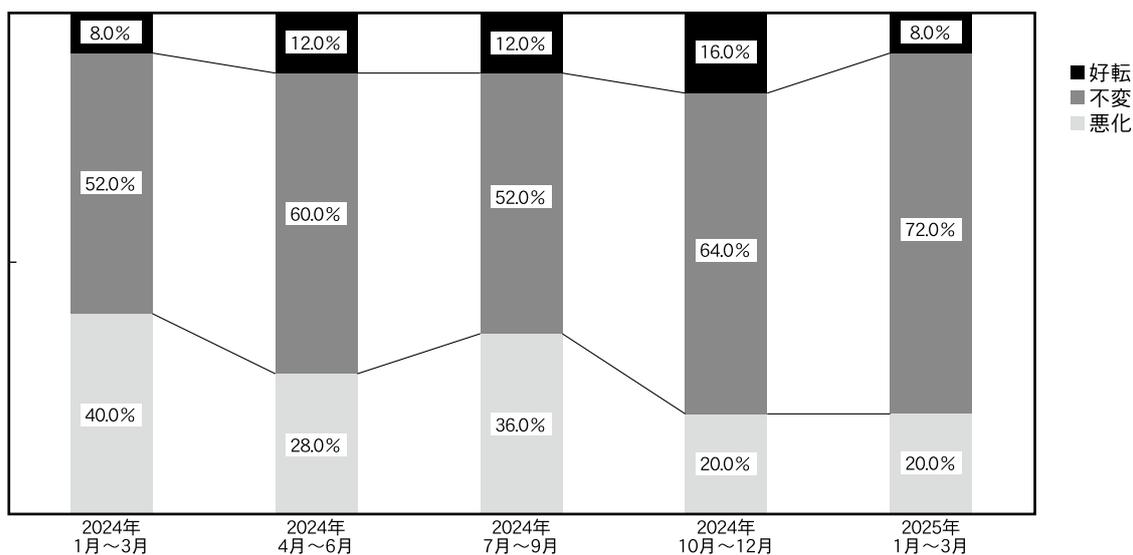
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、8.0%（2社）に減少（前期比▲2社）している。

「不変」は72.0%（18社）に増加（前期比+2社）、

「悪化」は20.0%（5社）で前回と変化なしである。

山梨県 建設業 採算の状況－前年同期比－

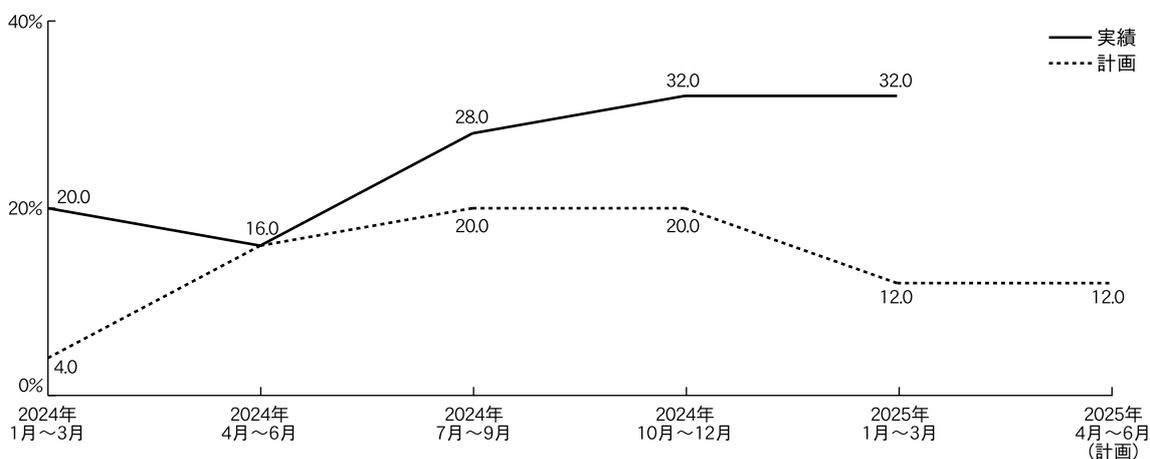


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数25社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は32.0%（8社）であった。その設備投資の内容は、「土地」「OA機器」が3件ずつ、「車両・運搬具」「その他」が2件ずつ、「建物」「建設機械」が1件ずつであった。

来期の計画については、12.0%（3社）の企業が予定している。その設備投資の内容は「車両・運搬具」「付帯施設」「その他」が1件ずつになる。

山梨県 建設業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数24社）

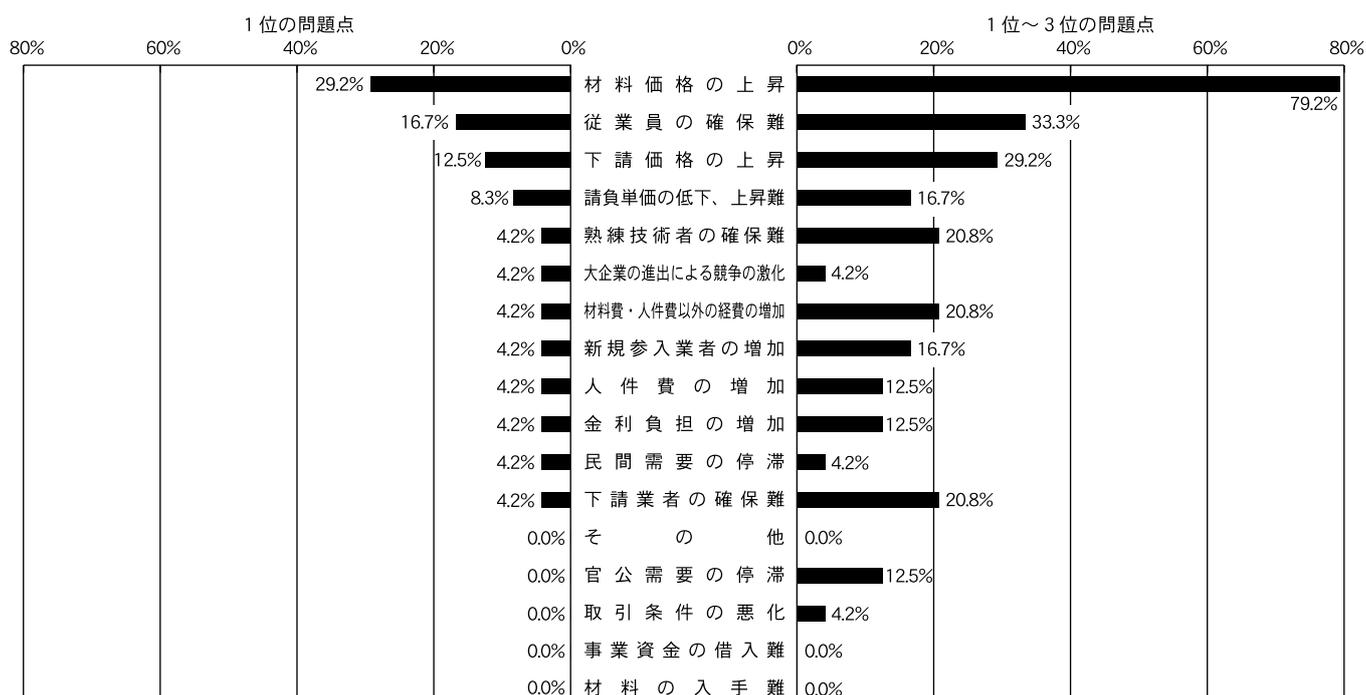
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

過去調査に引き続き「材料価格の上昇」が最も多く挙げられており29.2%（7社）であった。2番目に多かったのは「従業員の確保難」の16.7%（4社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも、1番目に多かったのは「材料価格の上昇」の79.2%（19社）であり、2番目に多かったのも「従業員の確保難」の33.3%（8社）であった。

山梨県 建設業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
総合工事業	19	76.0
職別工事業	4	16.0
設備工事業	2	8.0
合計	25	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い		企業数(社)	構成比(%)
2人以下	9	36.0	8	32.0
3人～5人以下	6	24.0	7	28.0
6人～10人以下	5	20.0	5	20.0
11人～20人以下	5	20.0	5	20.0
合計	25	100.0	25	100.0

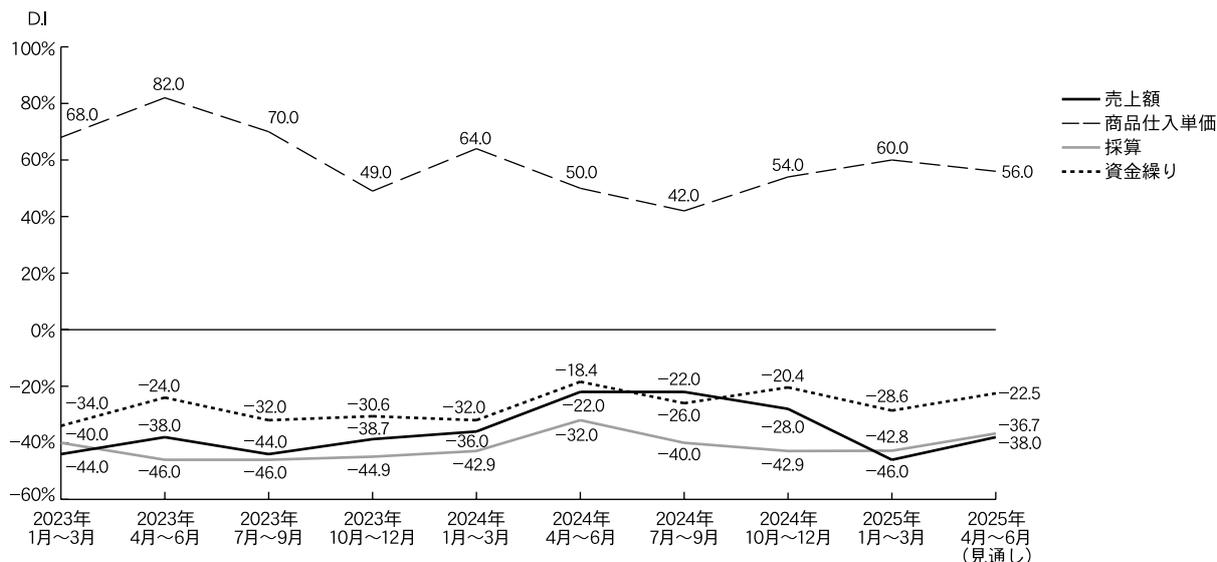
4. 小売業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲46.0と前期比で18.0ポイント悪化したが、来期は▲38.0へ改善の見通しである。商品仕入単価D Iも、今期60.0と前期比で6.0ポイント上昇（悪化）し、来期は56.0へ下降（改善）の見通し。採算D Iは、今期▲42.8と前期比で0.1ポイント僅かに改善し、来期も▲36.7へ改善の見通し。資金繰りD Iは、今期▲28.6と前期比で8.2ポイント悪化したが、来期は▲22.5へ改善の見通しである。

今期は採算D Iが改善、売上額D I、商品仕入単価D I、資金繰りD Iが悪化した。一方、来期は全D Iが改善の見通しである。

山梨県 小売業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

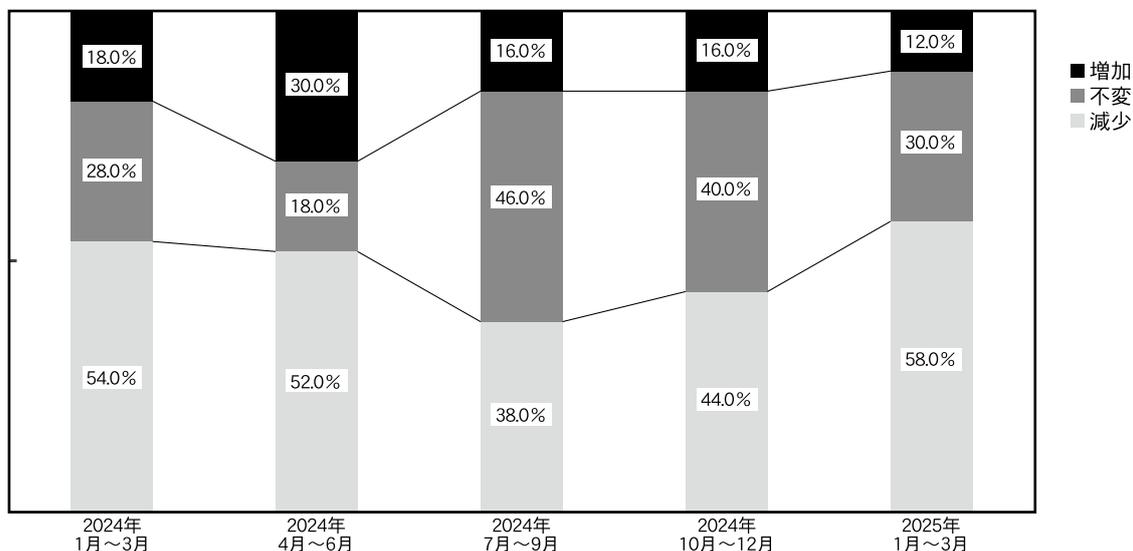
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数50社））

「増加」と答えた企業の割合は、12.0%（6社）に減少（前期比▲2社）している。

「不変」は30.0%（15社）に減少（前期比▲5社）、

「減少」は58.0%（29社）に増加（前期比+7社）している。

山梨県 小売業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数49社））

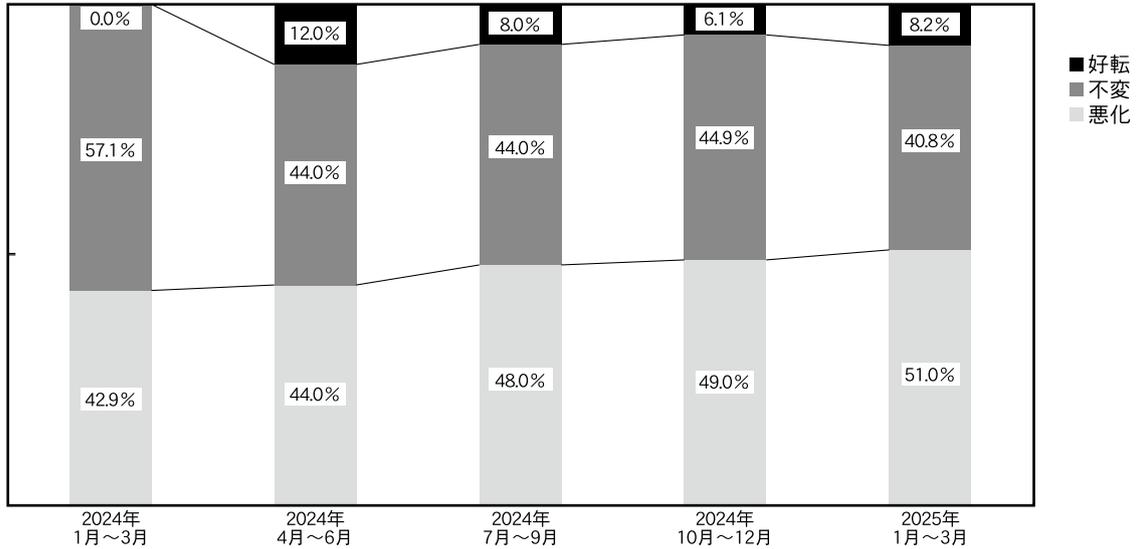
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、8.2%（4社）に増加（前期比+1社）している。

「不変」は40.8%（20社）に減少（前期比▲2社）、

「悪化」は51.0%（25社）に増加（前期比+1社）している。

山梨県 小売業 採算の状況－前年同期比－

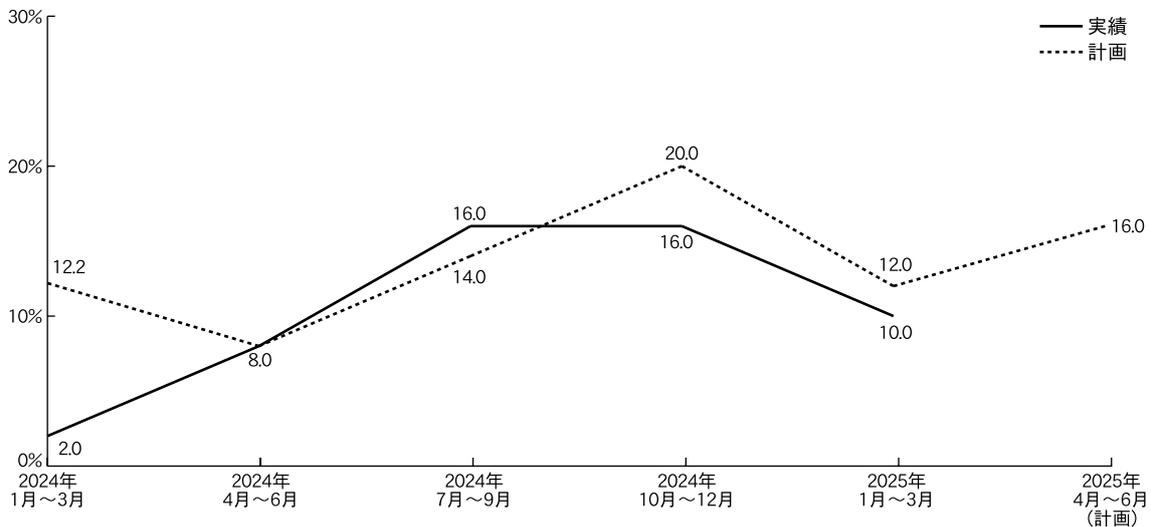


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数50社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は10.0%（5社）であった。その設備投資の内容は、「その他」が2件、「販売設備」「車両・運搬具」「OA機器」が1件ずつであった。

来期の計画については、16.0%（8社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「OA機器」「その他」が3件ずつ、「店舗」「販売設備」「付帯施設」が2件ずつ、「車両・運搬具」が1件になる。

山梨県 小売業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数49社）

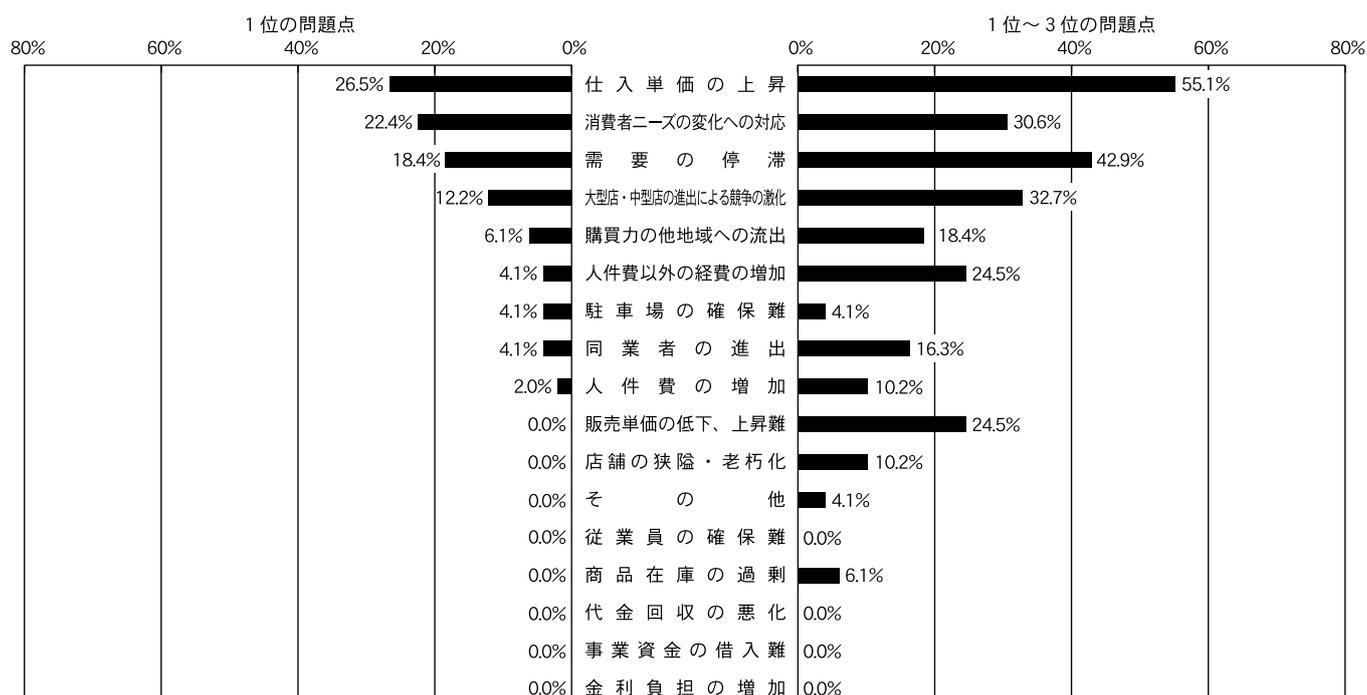
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」の26.5%（13社）であり、2番目は「消費者ニーズの変化」の22.4%（11社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも、1番目に多かったのは、「仕入単価の上昇」の55.1%（27社）であったが、2番目は「需要の停滞」の42.9%（21社）であった。

山梨県 小売業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
織物・衣服・身の回り品小売業	11	22.0
飲食物品小売業	18	36.0
自動車・自転車小売業	2	4.0
家具・建具・じゅう器小売業	4	8.0
その他小売業	15	30.0
合計	50	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		従業員数	
	常雇い	臨時等含む	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	46	92.0	38	76.0
3人～5人以下	4	8.0	11	22.0
6人～10人以下	0	0.0	1	2.0
合計	50	100.0	50	100.0

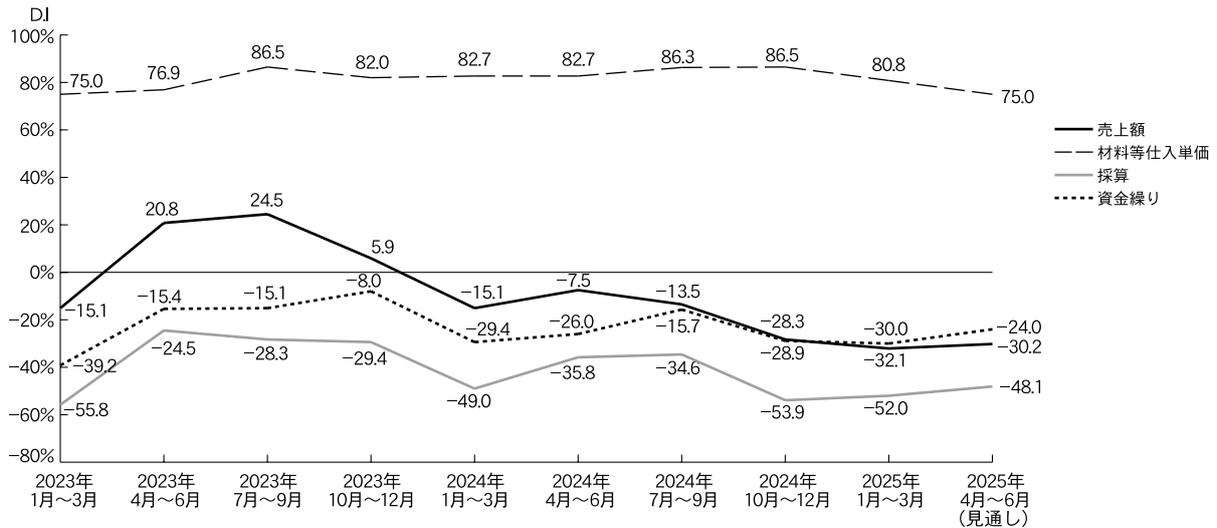
5. サービス業の動向

(1) 景況概観

売上額D Iは、今期▲32.1と前期比で3.8ポイント悪化したが、来期は▲30.2へ僅かに改善の見通し。材料等仕入単価D Iは、今期80.8と前期比で5.7ポイント下降（改善）し、来期も75.0へ下降（改善）の見通し。採算D Iは、▲52.0と前期比で1.9ポイント改善し、来期も▲48.1へ改善の見通し。資金繰りD Iは、今期▲30.0と前期比で1.1ポイント悪化したが、来期は▲24.0へ改善の見通しである。

今期は材料等仕入単価D I、採算D Iが改善、売上額D I、資金繰りD Iが悪化した。一方来期は、若干程度ではあるものの、全D Iが改善の見通しである。

山梨県 サービス業 主要景況項目の推移－前年同期比－



(2) 主な項目でみる業況

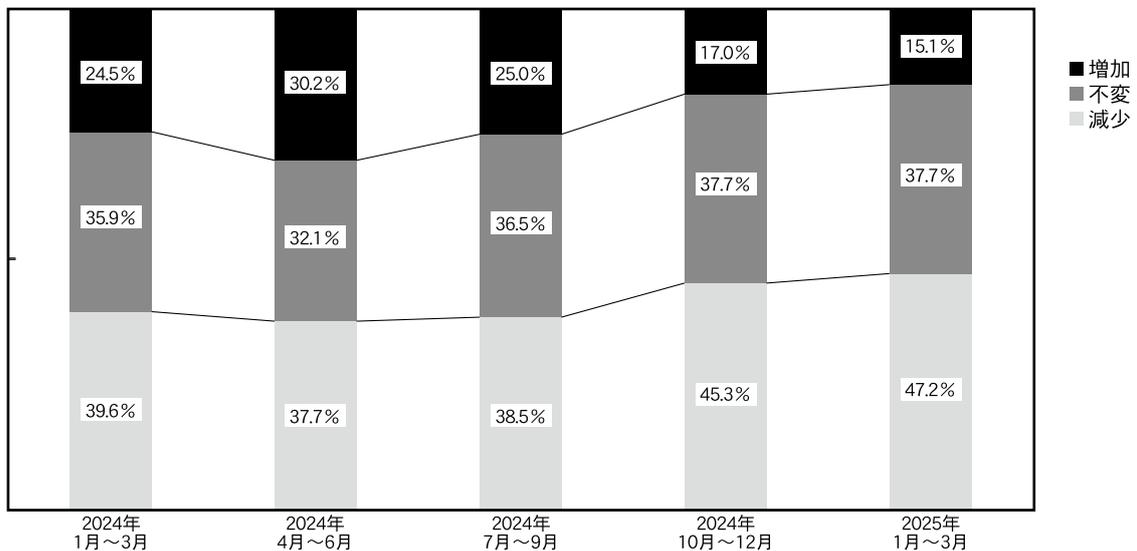
① 売上額（売上額D Iの内容（回答企業数53社））

「増加」と答えた企業の割合は、15.1%（8社）と減少（前期比▲1社）している。

「不変」は37.7%（20社）で前回と変化なし、

「減少」は47.2%（25社）と増加（前期比+1社）している。

山梨県 サービス業 売上額の状況－前年同期比－



② 採算（採算D I の内容（回答企業数52社））

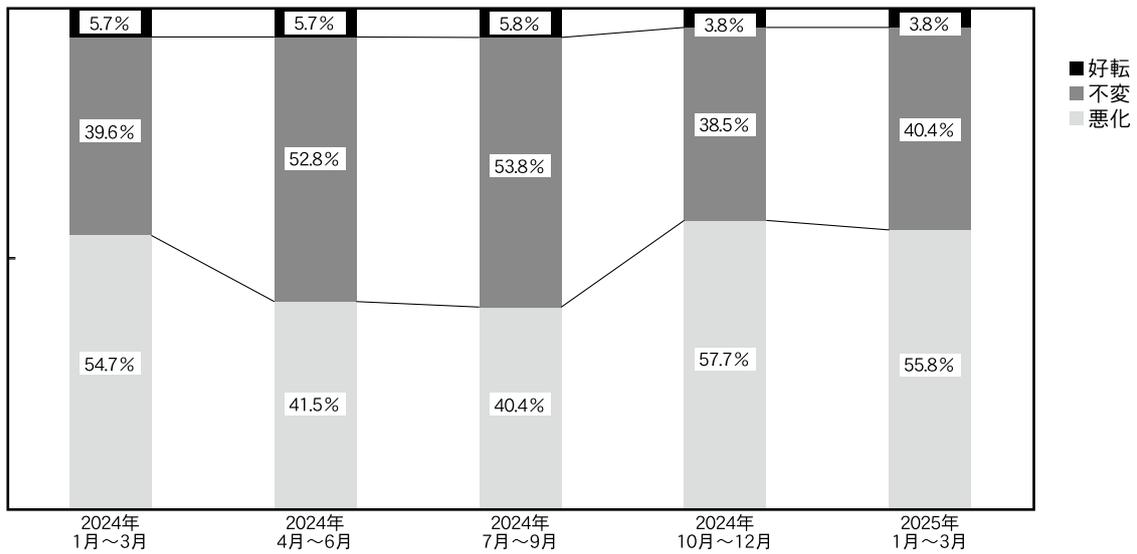
※ 本調査では、経常利益を「採算」として尋ねている。

「好転」と答えた企業の割合は、3.8%（2社）で前回と変化なし。

「不変」は40.4%（21社）に増加（前期比+1社）、

「悪化」は55.8%（29社）に減少（前期比▲1社）している。

山梨県 サービス業 採算の状況－前年同期比－

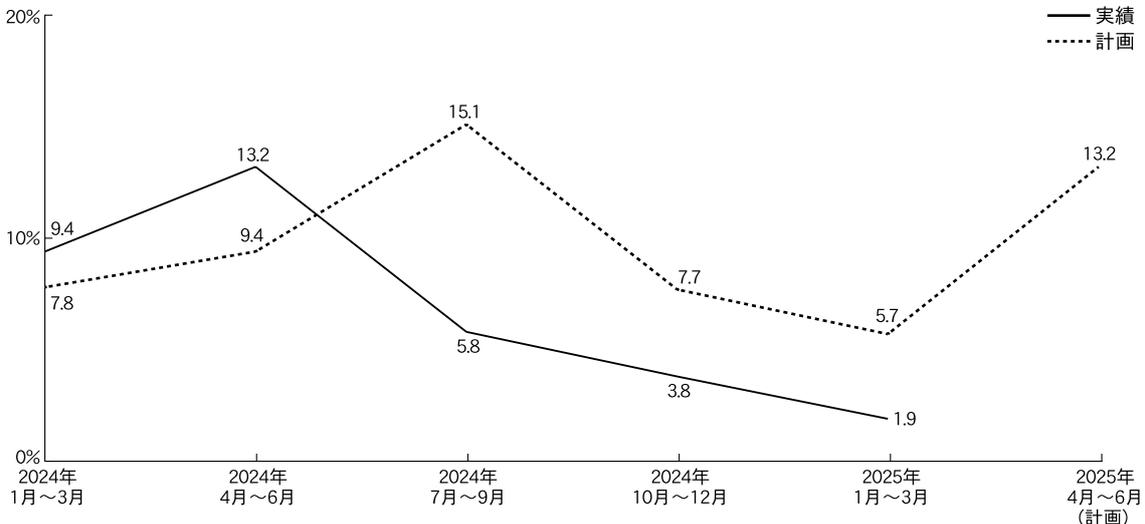


③ 設備投資（直近1年間における設備投資の状況（回答企業数53社））

今期において、設備投資を行った企業の割合は僅かに1.9%（1社）であった。その設備投資の内容は、「付帯施設」が1件であった。

来期の計画については、13.2%（7社）の企業が予定している。その設備投資の内容は、「サービス」「車両・運搬具」「付帯施設」「その他」が2件ずつになる。

山梨県 サービス業 設備投資の状況



④ 経営上の問題点（回答企業数47社）

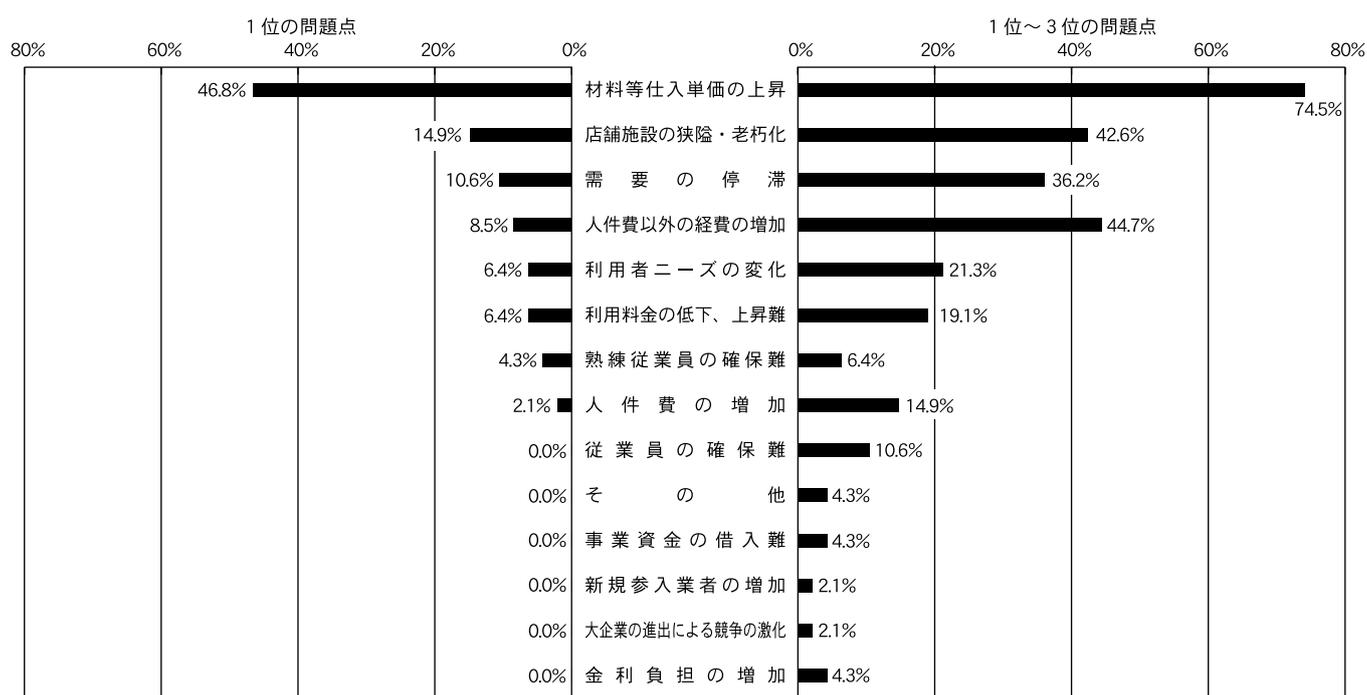
まず、経営上の問題点として、「1位」に挙げられたものからみていく。

1番目に多かったのは、「材料等仕入単価の上昇」の46.8%（22社）であり、2番目は「店舗施設の狭隘・老朽化」の14.9%（7社）であった。

次に、「1位～3位」に挙げられたものをみる。

こちらも、1番目に多かったのは「材料等仕入単価の上昇」の74.5%（35社）であったが、2番目は「人件費以外の経費の増加」で44.7%（21社）であった。

山梨県 サービス業 経営上の問題点



⑤ 回答企業の内訳

業種別

業種	企業数	構成比(%)
一般飲食店（一般・遊興）	19	35.9
宿泊業	7	13.2
運送業	1	1.9
自動車整備業	4	7.5
洗濯・理美容業	19	35.8
その他のサービス業	3	5.7
合計	53	100.0

従業員規模別

従業員数	雇用形態		臨時等含む	
	常雇い		常雇い	臨時等含む
	企業数(社)	構成比(%)	企業数(社)	構成比(%)
2人以下	45	84.9	38	71.6
3人～5人以下	8	15.1	11	20.8
6人～10人以下	0	0.0	3	5.7
11人～20人以下	0	0.0	1	1.9
合計	53	100.0	53	100.0